

<第1回 事業推進協議会 議事録>

開催日時： 2021年7月20日(火) 17:55～19:20

開催場所： たかつガーデン「藤」

参加者： (代表理事) 多田 修 (業務執行理事) 西村 哲也、林 秀昭
(委員長) 島田 真輔、朝田 武志 (副委員長) 関 健一、山本 一雅、上田 整弘
(青年部会長) 佐々木 徹也 (青年部副会長) 関 隆史 (顧問) 安井 賢治
(事務局) 中西 <文責>

議事内容： 今年度から新組織として「事業推進協議会」を立ち上げ、その1回目の協議会の議事を下記に記載します
多田会長から2021年度の事業運営方針の説明があり、その項目1～3について意見交換を致しました。

項目1) 青年部会と委員会が協力しながら運営できる体制を構築する

青年部会については、メンバー減少、存続危機の中 今後の方針について以下の意見があった。

- ・解散して一旦本会に吸収する、人数が増えたら復活させる。
- ・あと少し待てば候補者も出てくる予定である為、解散せずに維持したい。
- ・卒業して終わりではなく委員会の中で担当を決めて事業に携わることとする。
- ・経営者、後継者だけでなく幹部社員も参加出来るようにすれば社員を参加させたい。

(補足) 青年部会の会則第5条 会員の資格は下記のとおり

- ・親会の会員企業(正・特・賛助)であること ・満年齢50歳以下であること
- ・各企業の経営者又は将来その経営を担うべき幹部社員であること

青年部会について多種の意見が出たが、新しい事業を参画する時に委員会と共同で参加して欲しい。

項目2) 会員パートナー宣言に則り「SDGs」「カーボンニュートラル」「DX(デジタルトランスフォーメーション)」の導入を支援し、会員企業のブランド価値の向上を図る

プレス業としてどう取り組むか、何が出来るか、参加の皆さんの状況は如何ですか。

- ・大手納入先(客先)では取り組みが必須、不良発生時などはカーボン量に換算、査定される
- ・顧客から求められれば真剣になる、いずれ政府の補助金も動くのでは
- ・材料を取り合う時代、見える化、情報開示して余っている材料は安く売る
- ・健康経営制度に取り組んでいる。取り組みしやすい。(SDGsの3番)
- ・内容が広範囲であり中身を正しく理解する必要がある。
- ・セミナーの先生の話よりも、取り組みが終わって既に実行していますという例が見たい。
- ・既に日常で取り組んでいることが、これらに当てはまっている場合も多いのではないかと。
- ・実際に行っていることを、SDGsに取り組んでいますとPRすることが必要
- ・取り組みを取材して頂いて記事して頂くのが良いのではないかと。

総務・経営委員会で取り組みをスタートさせて下さい。DXは安全・技術委員会で取り組んで下さい。

(次ページ続く)

項目3) 正会員の範囲を広げ、金属プレスに関わる幅広い業種から会員を募集する。

参加の皆様から色々な意見をお聞きたい。

- ・定款には“金属プレス加工を行う金属製品製造業者”と記載があるので定款の変更も必要
- ・大手プレスメーカーと材料屋以外はすべて正会員で良いのではないか
- ・上部団体などとは違いが生じるがそれは構わないのか
- ・プレス金型に関わっている会社は正会員で良いのではないか
- ・既に現時点でプレス製品を作っていない正会員が 5、6社は存在しています。
- ・別の会で“お試し会員”という制度があるが、当会も導入してはどうか

以上、色々な意見が聞け、議論が出来ました。各委員会で事業の取り組みを進めて下さい。

青年部についての意見交換もありましたが、青年部員はどちらかの委員会へ参加してはどうか(多田会長)
それでよいと思います。メンバーに話をしてみます。(佐々木 青年部会長)

次の協議会は4か月後あたりに開催します。日程は追って連絡、調整さんなどでお伺いします。

出来るだけ全員が参加して頂けるようにお願いします。

以 上